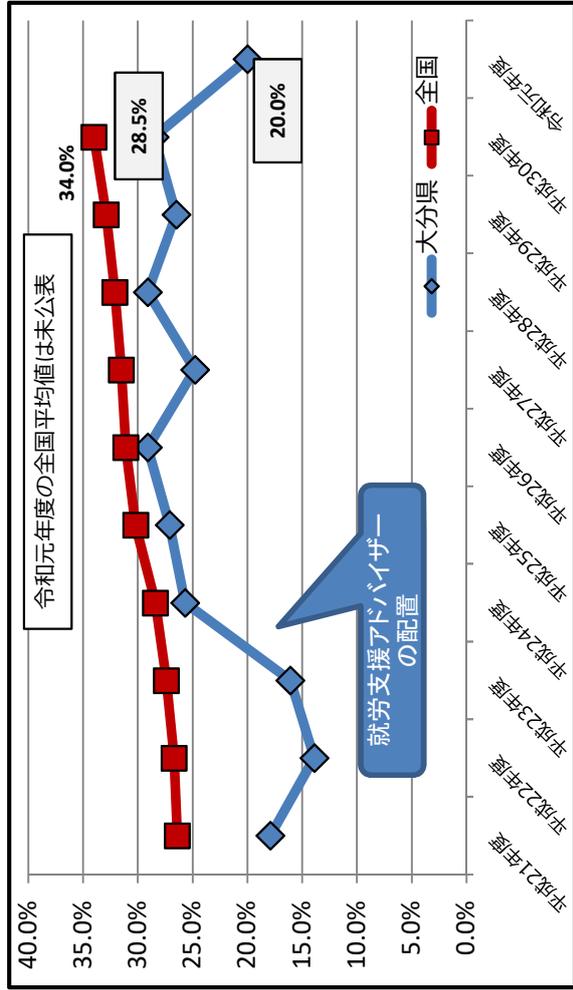


令和元年度（令和2年3月）特別支援学校高等部卒業生進路状況について

【資料1】卒業生全体に占める進路先別の割合 ※ 卒業生218名（高等部本科・専攻科） ※ 複数の進路先がある卒業生がいるため合計は218名にはならない。

卒業生全体に占める割合 (本科・専攻科)	進学		教育訓練機関等		就職		社会福祉施設・医療機関							その他	未定					
	大学 0.9% (2名)	専攻科 0.9% (2)	特別支援学校 0.0% (0)	専修学校・専 門学校 0.0% (0)	各種学校 0.5% (1名)	職業能力開発 0.5% (1)	企業 13.8% (30)	公務員・自営 業 0.0% (0)	19.7% (43名)	75.2% (164名)							4.1% (9名)	2.3% (5名)		
									就労移行支援	就労継続支援 B型	地域活動支援 センター	自立訓練 (生活訓練)	自立訓練 (機能訓練)	療養介護	生活介護	デイケア	入院	自宅	その他	未定
	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	6.0% (13)	18.3% (40)	31.7% (69)	0.0% (0)	0.9% (2)	0.5% (1)	2.3% (5)	20.2% (44)	1.4% (3)	0.0% (0)	1.4% (3)	2.8% (6)	2.3% (5)

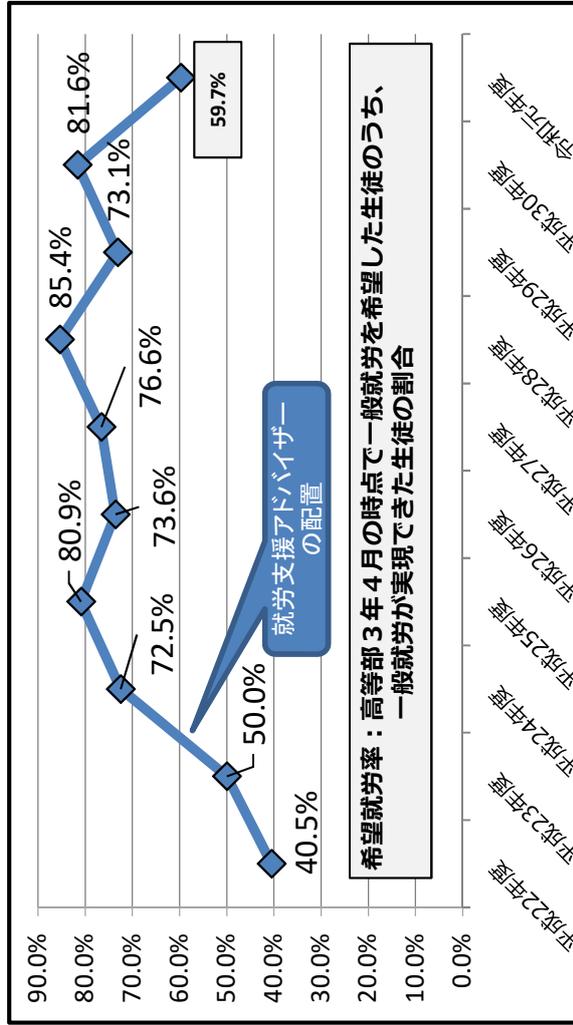
【資料2】知的障がい特別支援学校高等部3年生の卒業時における一般就労率の推移
(一般就労：企業、公務員、自営業、就労継続支援A型)
(一般就労率：全卒業生徒のうち、進路先が一般就労の生徒の割合)



県内知的障がい特別支援学校高等部令和元年度卒業生一般就労について

- 一般就労率...20.0% (H30年度より8.5ポイント減少)
- 一般就労者数...37名 (H30年度49名より12名減少)

【資料3】県内知的障がい特別支援学校における希望就労率の推移



希望就労率：高等部3年4月の時点で一般就労を希望した生徒のうち、一般就労が実現できた生徒の割合

県内知的障がい特別支援学校高等部令和元年度卒業生希望就労率について
希望就労率...59.7% (H30年度より約22ポイント減少)

進路変更に至ったケース

- 進路先と協議の結果、就労継続支援A型への移行を視野に入れて、就労移行支援へ進んだ
- 対人面、情緒面の課題から、一般就労がかなわなかった

【課題】
一般就労を希望した生徒の進路実現

【今後の方向】

- 進路実現に向けた本人、保護者、教員の更なる意識の向上
 - ・就労支援アドバイザーの企画・運営による研修
 - ・学校計画訪問での指導主事による校内体制等への指導・助言
- 進路指導を含めた、指導の改善